

琉球大学医学部附属病院がんセンター
平成30年度がん患者等支援事業

がん情報及び地域がん医療説明会 「もしも伊江島でがんになったら」 に関する報告書

2018年9月13日



地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」の刊行に際し、本書の活用説明会を伊江村で実施した。伊江村医療保健センターより肺がんが多い現状で予防に努めたいとの要望があり、がんの要因としての喫煙の影響も内容に含めた。伊江村におけるがん医療の在り方について、伊江村長・担当課長らと協議した。また、伊江村立診療所長とも同様の協議を行った。

■伊江村におけるがん医療の在り方についての協議

(伊江村役場)

日時：平成30年9月13日（木）13：00～13：45

場所：伊江村役場

出席者：伊江村長 島袋 秀幸様

伊江村役場 医療保健課長 宮里 政喜様

伊江村役場 医療保健課 保健師長兼課長補佐 垣迫 紀子様

琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田 昌人

琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務補佐員 東 啓子

(伊江村立診療所)

日時：平成30年9月13日（木）13：55～14：30

場所：伊江村立診療所

出席者：伊江村立診療所長 阿部 好弘 様

琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田 昌人

琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務補佐員 東 啓子

■がん情報及び地域がん医療説明会「もしも伊江島でがんになったら」

日時：平成30年9月13日（木）19：30～21：00

場所：伊江村農村環境改善センター

参加人数：152人

内容：(1) 講演「がん情報のさがし方勉強会 in伊江村」

琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人

(2) 講演「伊江村でできるがん医療」

伊江村立診療所長 阿部 好弘 先生

(3) 質疑応答

■個別相談

日時：平成30年9月13日（木）21：00～21：45

場所：伊江村農村環境改善センター

相談者：4組

国民の2人に1人はがんになる時代です。
いざというとき、自分の納得いくかたちで
病気と向きあうために、がん治療の現状も
交えながらお話しします。
もしもに備えて考えてみませんか？
どなたでも、お気軽にご参加ください。



がん専門医が伝える
病院・診療所の上手なかかり方



もしも伊江島で がんになったら

—がんサポートハンドブック・
—がん療養場所ガイドブック
活用説明会in伊江村—

伊江村のみなさまへ
がん診療の疑問や不安を解消する説明会を
伊江村で開催します。地元の診療所でどんな
治療ができるのか、がん情報さがしのコツを、
専門家の立場からお話しします。
がんはすべての人にとって身近な病気です。
情報は「力」となり療養生活を支えます。
まずは「知る」ことから始めませんか。

琉球大学医学部附属病院 がんセンター長
増田 昌人

(講演)

・伊江村でできるがん医療について 伊江村立診療所 阿部 好弘先生
・病院のかかり方、情報の集め方 琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人
※終了後、医師による個別がん相談対応あり

日時:9月13日(木) 午後7時30分～8時30分(午後7時開場)

場所:農村環境改善センター 2階 大ホール 伊江村字東江上75

対象:伊江村にお住まいのみなさん

参加費:無料

主催:琉球大学医学部附属病院がんセンター 沖縄県がん患者等支援事業

内容に関するお問い合わせ:伊江村役場 医療保健課 ☎0980-49-2234・5000

琉球大学医学部附属病院 がんセンター ☎098-895-3331(内線4358)

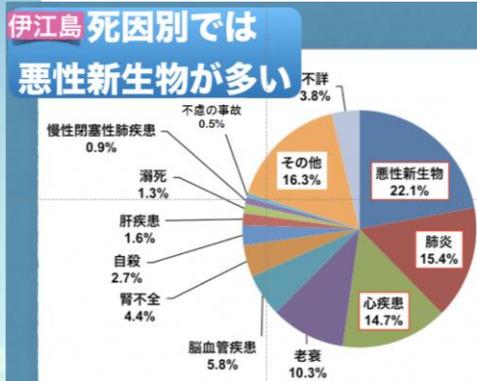
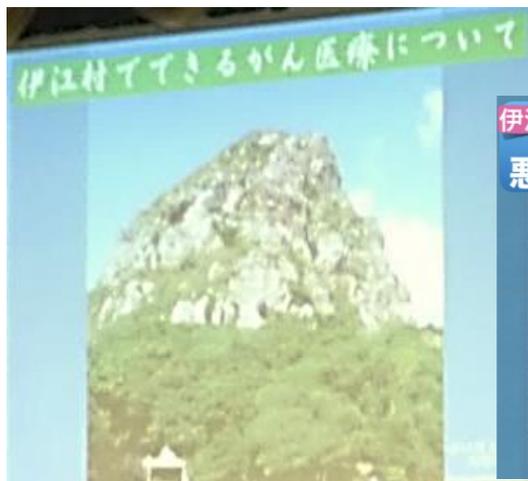
がん情報のさがし方勉強会 in 伊江村

「がんの要因～喫煙～」

「おきなわがんサポートハンドブック」
「がん患者さんのための療養場所ガイド」

琉球大学医学部附属病院がんセンター
増田 昌人

伊江村でできるがん医療について

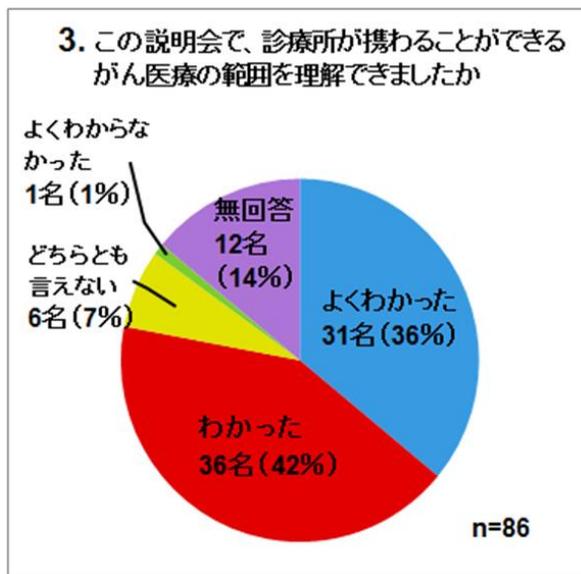
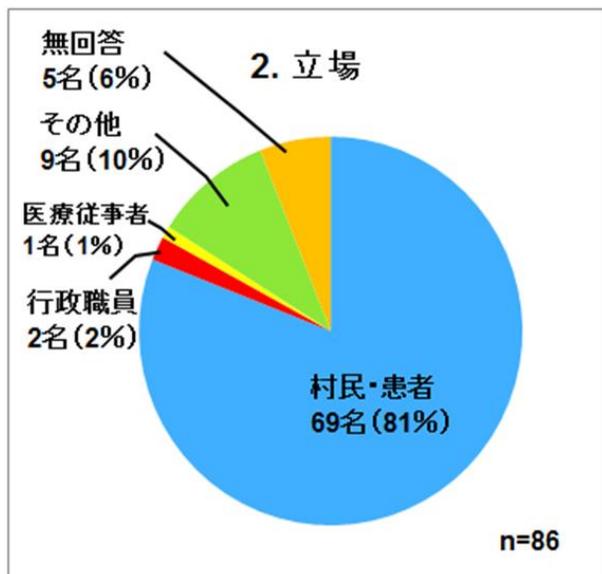
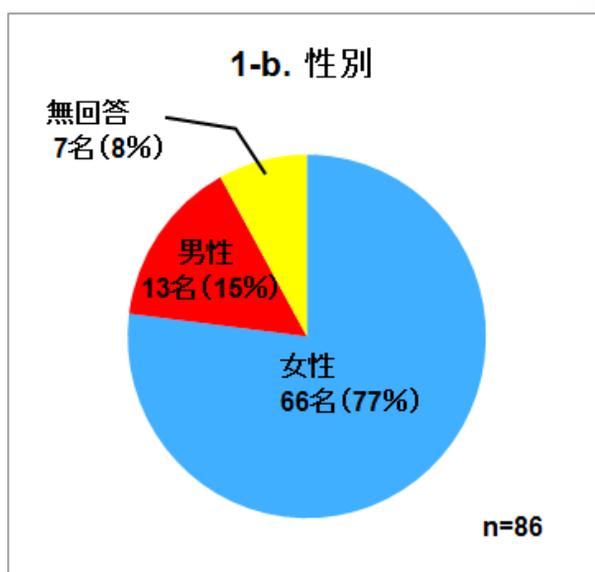
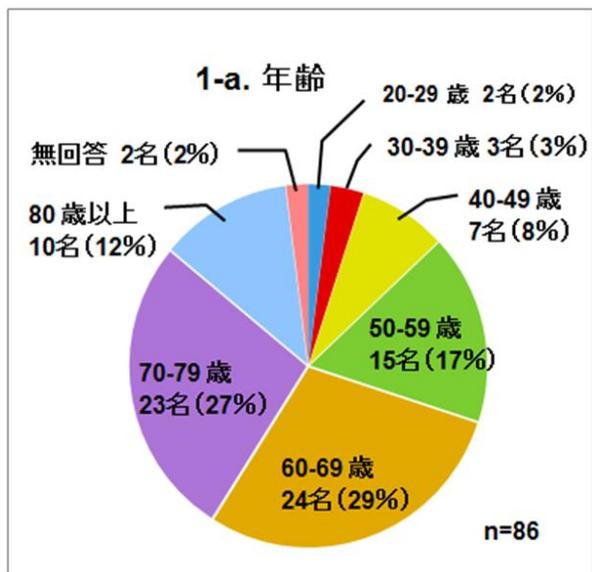


伊江村立診療所 所長 阿部 好弘 先生

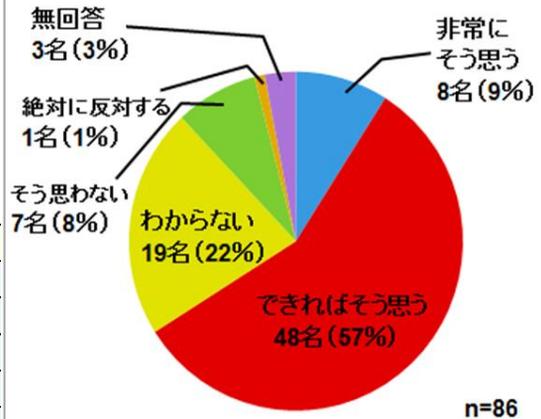


アンケート結果 1

参加者152人 アンケート回収86人 アンケート回答率56.5%

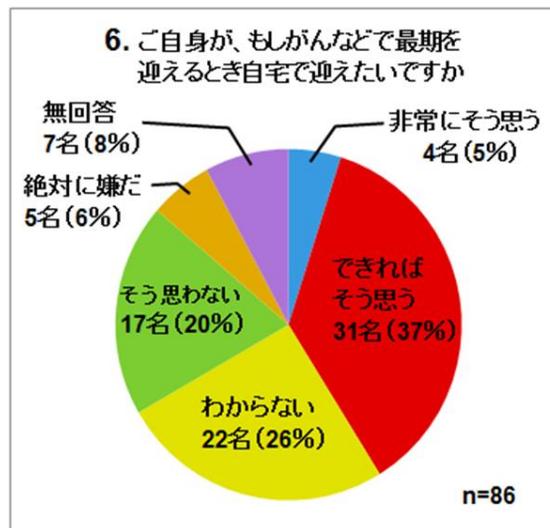


4. もし身内が、がんなどを患い自宅で最期を希望されるとき、自宅で看取りたいですか



5. 4の理由を教えてください。

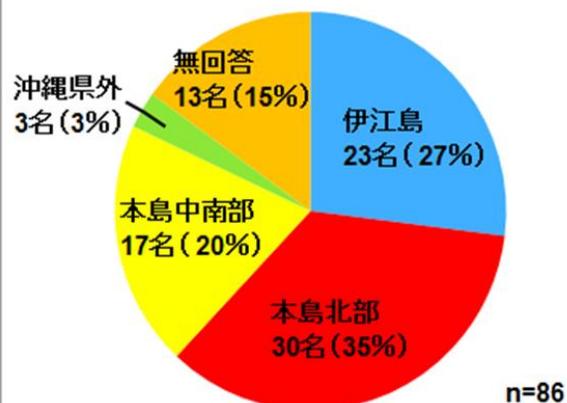
- その人らしい最期を支援したいから。
- 伊江村診療所でがんや在宅医療が可能だと知ったので。
- 対応できない。
- できる限りやってあげたい。
- 本人(当事者)がどうしたいのか、はっきりとわからない。
- 本人の希望、家族全員で看取りたい。
- 本人が希望するのであれば、私が医療職なので出来ることはやりたい・・と思います。
- 家族で看取りたいから。さびしくないように。
- 本人の希望であれば、できる限りかなえてあげたい。
- 生まれ育った場所で。
- 最後の希望を叶えてあげたい。
- 介護は大変だと思うが本人の意思を聞いてあげたいが周囲の協力が大切だが難しい。今後、本人自身が未婚で子供なく、年齢もやや上で兄弟も高齢な場合の介護。
- 看取る不安がある。
- 本人の気持ちを一番に考えたいけど自信がない。
- 本人(家族)もそう思っていると思う。。
- 今日の説明を聞いて安心したから。
- 実際に自宅で看取れる環境であるか否かはわからないが、本人が希望するのであれば、安らかな最期を迎えさせたい。出来るか不安。
- 人生の終末を迎えるのは、やはり家族と。
- 自宅で看るのは大変。
- 介助者がいれば本人の希望をかなえたい。
- 本人の意思ならそれを尊重したい。
- 診療所の訪問があればほど行われていたのは初めて知りました。
- 住みなれた自宅で過ごせるのがよいが、がんの知識があまりないので対応方法が相談サポートいる。
- 受け入れる自信がない(知識等)。
- 身体的に不安
- 自分のいばしょがないから。
- それが本人の希望だから。家族だから。
- その時にならないとわからない。
- 症状の変化を受け入れられるか不安
- 負担がかからない方がいいです。
- 第一に家族が大変だから。
- 病院のほうが安心できる。
- 家族に任せます。
- 老人どうしでは無理がある。
- よくきこえない。
- 他人より身内のほうが気楽だと思う。



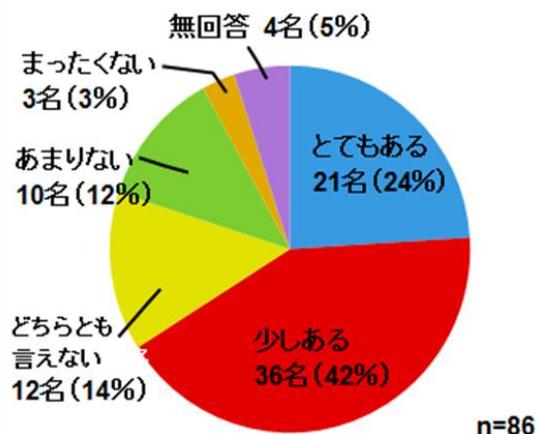
7. 6の理由を教えてください。

家族に負担がかかるのは心配。また、子供がいないので一人で最期を迎えられるのか不安。
子どもに迷惑をかけたくない。
他の家族に負担になりそう。
その時にならないとわからないと思います。
家族の負担。
信頼できる友人が緩和ケアにたずさわっているので、私自身はおだやかな気持ちで過ごすためには、緩和ケアを受けたいと考えている。家族の負担も心配なので。
落ち着ける。家族といたいから。
安心する場所ですごしたい。
生まれ育った場所で。
自宅・家族の近くに居たい。
しかし、周りに迷惑はかけたくない。(排泄の世話・他)
なるべく人の多いところで。
看取りの大変さがきびしいと思うから、子供に迷惑をかけたくないから。
同じ死を迎えるのであれば家が良い。
家族の負担を考える。
不安。
がん自体は老化現象で。
家族に負担をかけたくない。
一人住まいなので。
思うけど、家族に負担になるのは辛い。
家族に負担をかけたくない。
自宅だと考えるが、病状の悪化で入院の必要もある。
家族に負担をかけたくない。
自分のいばしょがないから。
病気持ちでも病人にはなりたくない。普通に家族と最期まで。
子供達に負担かけたくない。
子供達にも自分達の生活がある。子供に看護されようとは思わない。
家は安らげるから。しかし介護する人が大変。
家族で静かに迎えたい。
自分で動ける間で自宅、動けなくなったら病院の方が良い。
病院のほうが良い。
子や孫達と話しながら最期を迎えたいです。

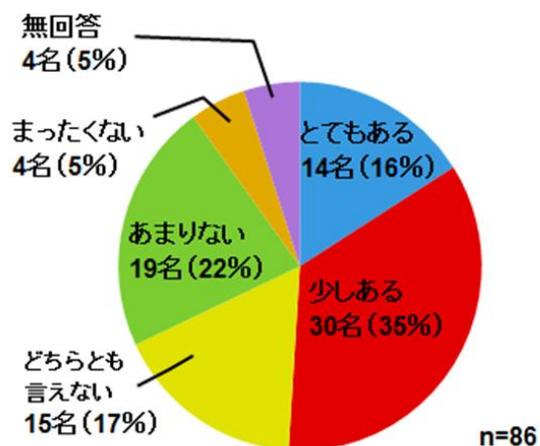
8. もしあなたががんになったら、
どこで治療したいと思いますか



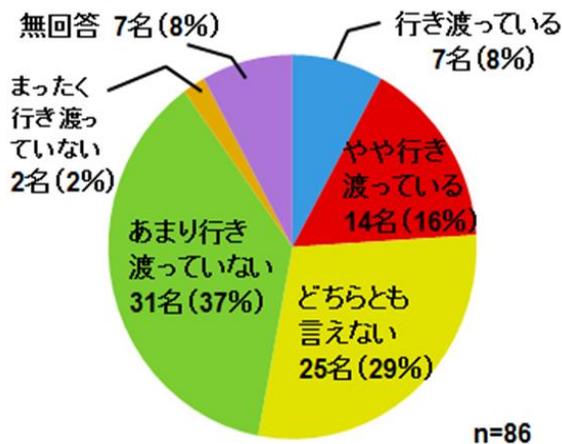
9. がんになったとき、伊江村で治療
することに不安はありますか

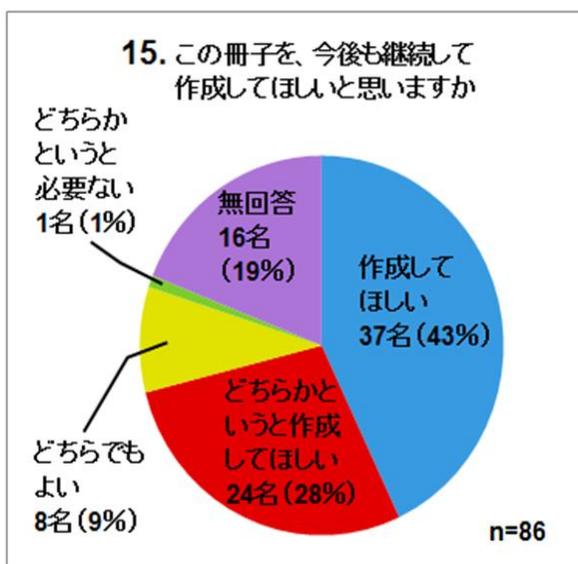
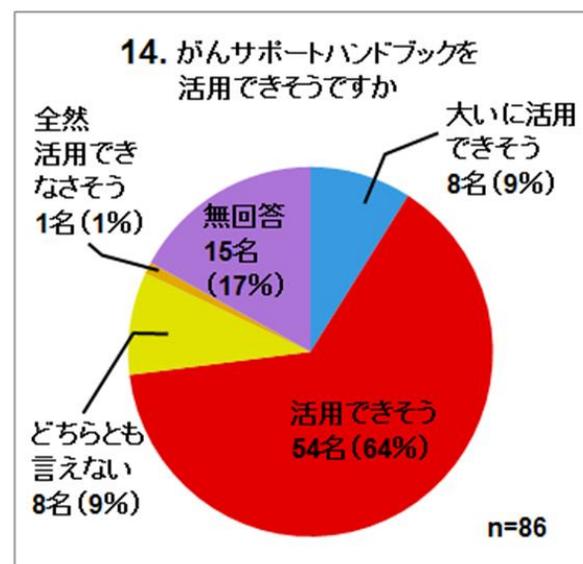
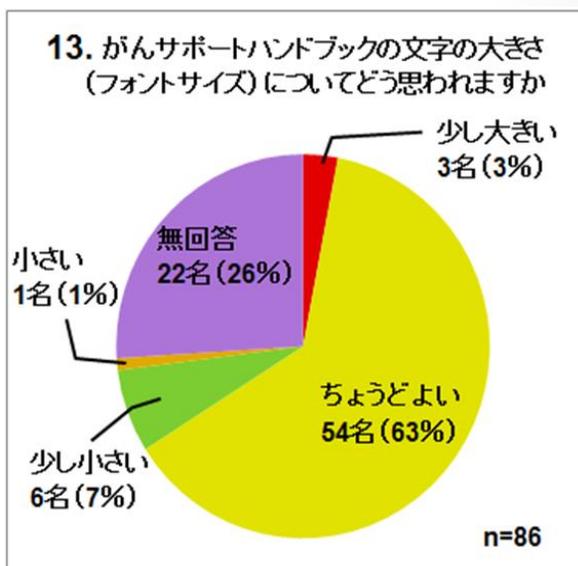
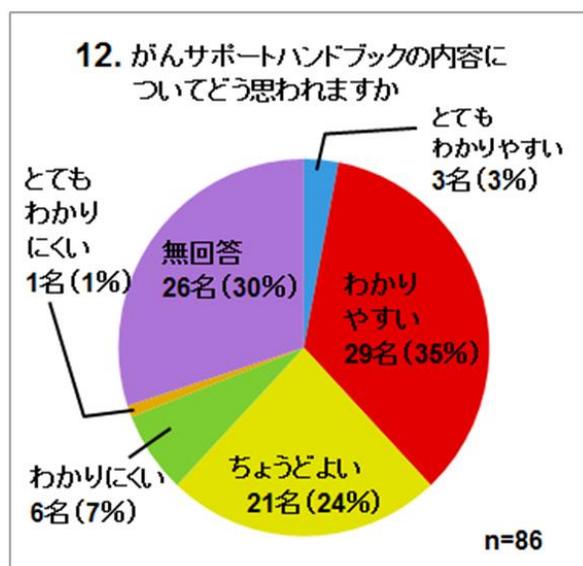


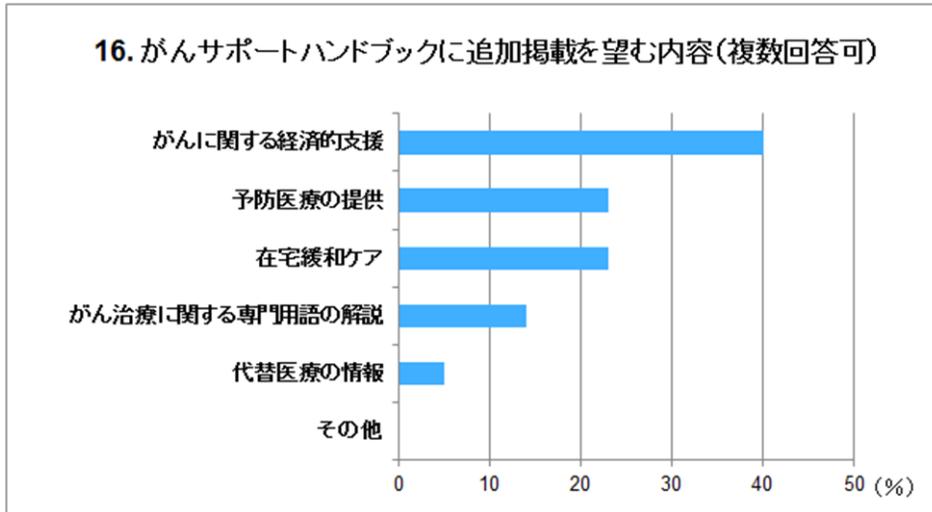
10. がんになったとき、村外で治療することに
不安はありますか



11. 伊江村では、がんの療養について
十分な情報が行き渡っていますか







17. 説明会の感想や、病院への要望など何かあれば自由に記載してください。

正直、診療所でこんなに積極的にがん治療に取り組んでるのを知らなかったの、今日は来て良かった。ただ、いざ自分がガンになったら冷静に判断できるかわからないので、今から時間をかけて考えます。
阿部先生、伊江村に来てくださりありがとうございます。
がんになったら、まず何をすべきか知れた。検診も行こうと思いました。マイクの音がこもってあまり聞き取れなかったです。
最後に島で過ごすことを増やすには、訪問看護の必要性が高まると思うので、検討してもらいたいです。
検診の大切さ。
とても解りやすく、良かったです。ありがとうございました。
本日はありがとうございました。村内で治療が可能な事におどろきました。(診療所のスタッフに感謝)身内に治療が必要な方がいるので、今後よろしく願います。
こういう講演会をきけて勉強になりました。ありがとうございます。回数を増やしてほしい。本人身内が病気や治療に対し無知な場合、先生からの意見も聴きたい。どうしたらよいか、一つの意見として。本人の背景・年齢・家族構成、医師からも本人の気持ちをきいてほしい。
本日はありがとうございました。先生からのお話をちゃんと役に立てるように勉強します。
伊江診療所のナースの態度がきつい。ので通院するのも気が引けるので本島に出ている。こわいです。威圧感がある。
「島外がより良い治療ができる」と思いがちでした。診療所での具体的な症例を聞き、もし「その時」があれば是非、力になって欲しいと思いました。
今日は、参加できて良かったと思います。
たいへんべんきょうになりました。ありがとうございます。
臍臓に袋が見つかり、今後、検査・経過続くのですが、不安で時々眠りが浅いです。
多くの資料がありよかった。診療所の役割が理解できた。音響が悪く聞き取りにくいところがあった。
がんになったらパニック状態になると思っていました。今日の話聞いて、診療所に何でも相談出来ると分かって安心しました。(薬局の昼休み時間、何とかありませんか)
大変参考になりました。ガンへの不安が楽になりました。
不安。
耳が悪いのか先生のマイクの声がうまく聞こえない。
がんの事や診療所がどう携わっているかがわかりました。ありがとうございました。
村で治療が出来ればそれにこした事はないと思います。
良かった。
とても良い講演会でした。今後もこういうのがあったらうれしいです。
年一回程度は説明があってほしいです。

■ 伊江村におけるがん医療の在り方についての協議

(伊江村役場) 島袋 秀幸 村長
宮里 政喜 医療保健課長
垣迫 紀子 保健師長兼課長補佐



(伊江村立診療所)
阿部 好弘 所長



○ 当日の様子

- がん情報及び地域がん医療説明会 もしも伊江島でがんになったら
講演：「がん情報のさがし方勉強会 in伊江村」
琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人



- 講演：「伊江村でできるがん医療」
伊江村立診療所長 阿部 好弘 先生



会場の案内

